

## 岐阜赤十字病院救護班第2班 東日本大震災活動報告

活動場所 : 岩手県 陸前高田市市立第一中学校

出動日時 : 3/19(土) ~ 3/23(水)

活動期間 : 3/20(日) ~ 3/22(火)

|        | 氏名  |
|--------|-----|
| 班長     | 小林  |
| 副班長    | 竹中  |
| 医師     | 小久保 |
| 看護師    | 大西  |
| 看護師    | 鷺見  |
| 薬剤師    | 石原  |
| 主事     | 大塚  |
| 自動車操作員 | 松下  |

3月20日(日)

6:50 第一中学校到着。福井班から巡回診療の引継ぎを受ける。

9:00 各避難所への巡回診療を行う予定であったが、避難所からインフルエンザの患者が2名発生したため、中学校内の避難所(体育館、小児専用室、高齢者専用室)の被災者全員の健康チェック(主にかぜ症状の確認)をした。

また、問題のある人には中学校内の日赤救護所にて受診するよう促した。

13:00 秋田班藤田医師より引継時間が朝8時では前日休憩時間がほとんどないまま救護所の業務につくことになるので、一時休憩するよう指示された。

15:00 高田地区の訪問診療を行った。

20:00 日赤合同ブリーフィング。以下の指示を受ける。

- ・救護所の運営を秋田班から盛岡・岐阜班で行うこと。
- ・盛岡班は24時間、岐阜班は8時から20時まで診療を行うことになった。

3月21日(月)

8:00 救護所にて診療開始(救護所は24時間運営。夜間は盛岡班のみで診療)。

患者数186人

内訳: 8時~12時90人、12時~16時59人、16時~20時37人

20:00 岐阜班診療終了。

20:45 日赤合同ブリーフィング

・地区ごとに巡回診療を行っているが、新たに北海道大救護班からも参加することになった。地区ごとの分担を再度取りまとめていく。

3月22日(火)

7:40~8:30 福井班に引継。任務終了。

第2班が活動に入った時期の大きな課題は、避難所にみえる慢性期疾患の方にどのようにして薬を処方するかであった。

第1班の石森医師によって慢性期の方を自衛隊が近隣の病院に搬送し、その病院で処方してもらった。その後、病院行きの臨時無料バスが運行するようになったが、多くの方に薬を処方する方法として院外処方せんを各避難所で発行し、それを近くの院外薬局にまとめて持って行き処方していただき、薬を持ち帰って避難所に配布する方法をとった。処方された薬は陸前高田市の保健師さんが避難所ごとに分け、巡回診療時に配布された。

最近のテレビ報道では陸前高田市立第一中学校内に院外薬局を開設したと聞いている。

現地では刻々と状況が変化するので、その状況にあった活動が行えるよう臨機応変に対応することが重要であった。